

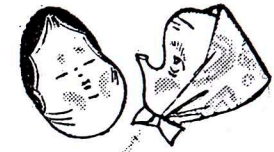
ほくらせん

発行 富山県入善町役場
印刷 森下印刷所

No.152

昭和44年10月1日発行

10月のこよみ



- 1日 法の日
赤い羽根運動はじまる
- 1日～7日 労働衛生週間
- 6日～15日 秋の交通安全運動
- 10日 体育の日 目の愛護デー
- 12日～18日 行政相談週間
- 13日 たいまつ祭
- 14日 鉄道記念日
- 15日 秋季祭礼
- 16日 町議会議員選挙告示
- 17日 貯蓄の日
- 19日 家庭の日
- 20日 新聞週間はじまる
- 23日 電信電話記念日
- 24日 国連の日
- 26日 原子力の日
町議会議員選挙投票日
- 27日 読書週間はじまる

(まっすぐみて下さい……宝田医院にて)

目は心の窓

○……十月十日は「目の愛護デー」です。昭和二十七年、厚生省が戦後はやりだしたトラコーマを予防するために、十を一〇と書いて、まゆ毛と目の形に見たてたユーモラスな思いつきからこの日を決めたものです。

○……もともと、目は発生的には脳の一部がくびれてできたものですから、眼底の細かい大きさの血管は、神経の様子をよく表します。それで目を見ると、その人の心の動きや、健康状態がよくわかります。「目は心の窓」といわれるのはこのためです。

○……夏のあいだプールから上がったとき、強い日射しの外出から帰ったとき、清水やホーサン水で洗っていた習慣も、涼風が立つともについ忘れがちになります。紫外線の強い秋こそ、目を大切にいたわってやらなければいけません。



ほくらもみている大人の選挙

10月

オクトーバー

October

人 口	28,201
(男 13,201 女 15,000)	
世 帯 数	6,511
10月1日	住民登録数

町議会報告

第30回 入善町議会定例会
— 教育委員に青木安平氏 —



みんなで守ろう

正しいルール

6日~15日秋の交通安全運動

行の実践に努めて下さい。

十月六日から十五日まで、国民の願望を結集して、秋の交通安全運動が展開されますが、入善警察署管内における、八月未現在の交通事故発生件数は一七七件で、昨年同期に比べて五八パーセントも増加し、負傷者については二二名で、六九、五パーセントの増となっています。

このように急激な増加をみる原因を究明してみますと、いろいろな悪条件が重なり合っていることがわかります。その中でも最も悪いのは、車を運転する人も、道路を歩く人も、正しい交通のルールを守らないために起きるものです。

秋の交通安全運動は、全国民が正しい交通ルールを身につけて、これを習慣化し、事故のない明るい社会をつくるために行なわれます。私たち一人一人が人命尊重の精神に徹して、交通安全に対する深い自覚と反省のもとに、立派な交通社会人となるよう努めたいものです。

○車を運転する人は、歩行者保護に徹し、飲酒運転、スピード違反などの無謀運転は絶対やめましょう。

○道路を歩く人は、自動車などの動きによく注意し、横断するときには、左右の安全を確認してから、手をあげて渡りましょう。

○幼児や、目、耳、足などの不自由な老人には、必ず付き添いをつけること。

○会社や事業所などでは、安全運転管理の徹底を図り、交通事故防止を最優先に、安全運

事業特別会計歳入歳出決算

○予 算

▽昭和44年度入善町一般会計補正予算(第四号)

▽昭和44年度入善町工場誘致特別会計補正予算(第二号)

○条 例 案

▽入善町都市計画審議会条例制定の件

○議 決 案

▽入善町財政調整資金積立金使途の件

▽富山県市町村消防賞しゅう金組合設置について

○同 意

▽教育委員会の委員の任命について

○報 告

▽寄附採納の件

○請 願

▽舟見簡易水道の八月豪雨による被害復旧

▽明治天皇、米沢紋三郎翁遺蹟保存事業助成方

▽野中簡易水道の八月豪雨による被害復旧

▽舟見野圃場整備事業に係る地区道路網の整備

▽町道浦山新堤防第三号線橋梁のかけ替

区 分	提出件数	可 決
決 算	5	5
予 算	2	2
条 例 案	1	1
議 決 案	2	2
同 意	1	1
報 告	1	1
請 願	5	5

第三十回入善町議会定例会は九月二十九日午前十時二十五分に開催されましたが、任期中最後の定例会とあって、質問にたつ私達の代表も、四年間の町政を忍ぶがごとき、一語一句をかみしめるような話し振りに、額のシワも白髪も、急に増えたように感じる今議会でした。審議状況は概ね次のとおりです。

○決 算

・昭和43年度入善町歳入歳出決算

・昭和43年度入善町国民健康保険特別会計歳入歳出決算

・昭和43年度入善町簡易水道特別会計歳入歳出決算

・昭和43年度入善町公团分収造林特別会計歳入歳出決算

・昭和43年度入善町工場誘致

巡回交通事故相談 (無 料)

日 時 10月17日 10時~15時
場 所 入善町中央公民館

事業主の

みなさんへ

「目ざそう、つくろおう」決意な職場」というスローガンで、この一日から全国労働衛生週間がはじまっています。各事業所にあつては、この趣旨を理解し、目的達成に努めて下さい。

前納で引きの特典を

国民年金の保険料を前納しますと、保険料の引きという特典があります。収穫の秋に一時にお金が入る農家の方や、勤めの関係で留守がちな方はぜひこの前納制度をご利用下さい。各種年金についての相談は住民課へ 電話七二一一〇〇

毎月第三日曜は家庭の日

私 の 家

野中小学校六年 酒井 栄子

私たちは二人姉弟、私が六年生、弟は一年生です。それに、おとうさんとおかあさん、おばあさんの五人家族です。

おかあさんは毎朝五時前に起きて、洗たくやおそうじ、食事の用意です。おかあさんは毎日おとうさんのおべんとうの用意に苦労しておられます。忙しい朝の仕事が大方片付いたころ、「おとうさん、もう六時半ですよ」と起こしていますが、おとうさんは「うん、うん」と返事するだけで、またねむってしまいます。一回で起きられることはめったにありません。私は「きつとおとうさんはつかれているんだ。ねむたくてたまらないんだらう」と思うのです。

おとうさんは、たいてい新聞をみながらごはんを食べ、七時すぎには大きなダンブカーに乗って、仕事に出かけられるのです。河川のジャリを運ぶ仕事が一番多いようです。

私と弟は外へ出て、おかあさんは玄関で見送ります。おかあさんは手を大きく振って見送ります。するとおとうさんも、ちよつと手をふって笑いながら出かけます。私は毎日、おとうさんの笑顔を見ると、心がゆかくなるのです。

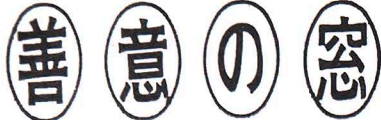
自動車が行ってしまうとおかあさんは「やれやれ一安心」と

いうような顔をして、家の中に入られます。私はそう言う顔をみると、毎日ほんとうにごくうらだなあと思うのです。

この間、私はおかあさんに、「家でも家庭の日をしましょうよ」といいました。おかあさんは「家庭の日とは、毎月一回第三日曜に、家で楽しい話し合いや楽しみ会を開くことですよ。そうしたら、私の家は毎日みんなで楽しくやっているじゃない。毎日が家庭の日みたいじゃないの」とおっしゃいます。私はちょっと困りましたが「でも、もっと工夫すれば、五人家族でいろいろの計画や、本をよんだお話しなどもできるのに」といいました。弟は横から「おかしな食べてね」といったのでみんなで大笑いしました。

おかあさんは、「日曜日は、私も自動車にのせてもらって、どこかに連れて行ってもらおうか。毎日ぬい物をしていると、運動不足になるかも知れないからね」といっています。私はたしかにおかあさんは、人の着物を責任もって、決められた日、で仕上げねばなりませんので、夜おそくまでかかることもあるし大へんだらう。ひまな時にはどこへでもつれていって上げた

いと思えます。おとうさんの帰りがおそい時は



あたたかいご芳志を感謝いたします

入善町 善意銀行

現金の部 (9月1日～9月30日)

預託(寄附)	内 容
入 膳 三日市茂朗	10,000円 渡米記念に
入 膳 山本 正勝	5,000円(毎月) 社会事業資金として
入 膳 竹内 博	1,000円 水書見舞金受領に感謝の意
入 膳 松本 トキ	2,000円 親切実行賞授賞記念に
横山 金山 重一	300円 水書見舞金受領感謝の意
横山 野口 敏雄	500円 恵まれない人へと
桐山 坂東喜代美	515円 5円玉で恵まれない人へと
道市 宮本 小平	10,000円 亡父の供養として道市福寿会へ(指定寄附)
計 8 件	29,315円

物品の部

入 膳 上田キクエ	産婦用洋蒲団 6枚 ベビー用タオルケット6枚 入善町母子健康センターへ(指定寄附)
-----------	---

10月の当直医

5日	一田 中 院 医	電話72-0455
10日	一森 院 医	電話72-0401
12日	一宝 田 院 医	電話72-0078
19日	一泉 院 医	電話72-0125
26日	一中 川 院 医	電話72-0336

には、交通事故にあったのではないかとみんな心配するので、そのうちに自動車の音がしたら、弟はまっさきに飛び出していきます。弟は家の自動車の音をびたりとあてるのです。おとうさんが帰ると、家の中に電灯がもう一つついたような気持ちです。みんなの顔も明るくなります。私もさつきまで、おとうさんに「ごとうもいおうと思っ



郵便番号簿

全国版を配付

管してご活用下さい。なお、これからは機械で区分けする割合が増加しますので、うる覚えの郵便番号は記入しないで、先方からの郵便物や、住所録、郵便番号簿等によって、正しい番号を記入されるようお願いいたします。(郵便局)

県民必携の 県民手帳

ポケットに ぜび一冊!

価格 百円

申込 十月十日 まで区長へ

無利息の

農業改良資金について

第十六回 町民相撲大会

野中小・舟見中に栄冠

今年四月一日から、農業改良資金制度が一部改正になっておりますが、農家の皆さんはご存知ですか。

収穫の秋も一段落して、来年の作付計画や作業計画に併せ、機械化、省力化による合理化計画をたてておいでの方もあると思いますが、何といつても頭の痛いのが資金面です。

そこで、この無利息の農業改良資金の改正点について、簡単にご紹介いたします。

1 新規種目

(1) 田植技術改善 (三年償還)

田植機 二十万円

附属機械 (電熱育苗器) 六万二千円

計二十六万二千円

○但し利用面積は三ヘクタール以上であること

(2) 花卉球根生産等技術改善 (三年償還)

植付機 (二台につき) 五万円

覆土機 (ク) 四万二千円

堀取機 (ク) 八万円

洗浄機 (ク) 八千円

乾燥機 (ク) 四万四千元

選別機 (ク) 六万円

(3) 鶏糞乾燥処理技術改善 (三年償還)

鶏一、〇〇〇羽飼養に必要な資材一セットにつき三十万円 (貸付対象資材とは、水洗式脱塵器、ダクトプロア、ブロックU字溝、ヒューム管、玉石、川砂、砂利等)

改正種目

集団的技術共同導入 (五年償還)

単備の改正と従来の機械のほか、田植機 (育苗器を含む) が追加された。

廃止種目

かんれいしや利用栽培、チユーリップ優良品種導入、ゆり優良品種導入、水田裏作ビヤシシマ増産、花卉球

根収穫等技術改善、たばこ土壌消毒

農業改良資金についてくわしくお知りになりたい方は、農協の金融係か、役場の農政課へ問い合せ下さい。

電話七二一一〇〇番

家庭に光を

少年に愛を!!

家庭裁判所創設二十周年

家庭裁判所は、家庭や親族に関する問題と、非行少年を専門的に取り扱う裁判所として、今年で創設二十周年を迎えます。

この二十周年、家庭裁判所は「家庭に光を、少年に愛を」をモットーに、国民のための裁判所として大きく成長しておりますが、昨年一年間で取り扱った事件は、全国で百数十万件を数え、また、家庭の問題や少年の非行などについての相談に訪れた方は、約三十万人にものぼりました。

裁判所という名がついているために、なにかこわいところ、いかめしいところと思っておられる方が多いようですが、家庭裁判所では、どのようにすれば家庭が円満になり、非行少年が更生するか、ということに重きをおいて、なごやかな雰囲気のうちには手続きを進める庶民的な裁判所なのです。

例えば、離婚、扶養、遺産分割、改氏、改名の許可、未成年者の養子縁組の許可などの家庭や親族の問題と、未成年者が罪を犯したり、犯すおそれがあるとき、社会の一員としてとりっぱに更生できるように教育し、指

「第十六回町民相撲大会」は快晴に恵まれた九月十三日、新しく常設された入善小学校の相撲場において、小中学校の選手八十五名により熱戦が展開されました。小学校の部では、常設雨天相撲場を持ち、充分な練習量に優る野中小学校が、土俵上の態度もよく初優勝に輝きました。

中学校の部では、舟見中学校

が三年連続優勝し、生徒数の多い入善、飯野校などの奮起が望まれます。日本の国技でもある相撲は、「心、気、体」の一致が目標とされていますが、「心」は、大敵たりともおそれず、小敵たりともあなどらない不動心を意味し、「気」は、対敵を威圧する気はくを、「体」は、日頃練習された体力並びに技をさすもので、この三点に留意し練習するならば、やがては相撲の極意に達するものと信じます。

○団体の部

小学校

優勝 野中小

二位 入善小

中学校

優勝 舟見中

二位 上青中

○個人の部

小学校五年生

優勝 坂東昭博 (桐山小)

二位 上田雅志 (入善小)

小学校六年生

優勝 長島 謙 (桐山小)

二位 川畑一博 (野中小)

中学校一年生

優勝 米沢 勉 (入善中)

二位 清水 剛 (舟見中)

中学校二年生

優勝 広生 求 (入善中)

二位 亀田 一郎 (入善中)

中学校三年生

優勝 大菅 弘 (舟見中)

二位 魚津敏明 (舟見中)

入善町相撲協会会長 城崎将雄記

水害見舞金ありがとうございました

9月3日~10月1日 敬称省略

富山県護国神社奉賛会	3,000円
入善町 連合婦人会	70,000
岩田 ラジオ店	20,000
入善町入膳 寺崎平太郎	5,000
舟見中学2年C組女子一同	453
富山市千石町富山センター教会	10,000
富山県 婦人会	45,000
日本海石産工業 KK	5,000
若林貞夫	

日時 10月14日 10時~15時
場所 入善町中央公民館

人権法律相談 (無料)

日常生活であなたの人権がおかされていませんか ご相談に応じます

入学生募集

いまや

技術・技能の時代

入善高等技能学校

們山にある、富山県立入善高等技能学校には、機械、板金、溶接の三科があり、修学期間はそれぞれ一年です。

同校では、いま、新規中卒または高卒の入学生を募集していますが、一般の方については年齢に制限がなく、明年三月末まで受け付けます。

技能者不足の折から、当校で技術を身につけますと、就職は好条件で優遇されます。また、当校生徒には、次のような特典があります。

●授業料、教材費無料

- 学割適用
- 技能検定の早期受験
- 在学中につきの免許が取得できます。

○電気溶接一級免許

○ガス溶接士国家免許

○溶接科、板金科

○ガス溶接取扱許可

○板金科

▼一般の方で失業保険受給者には、終了まで保険金が継続支給されるほか、一日百九十五円の受講手当と、月三千元限度の通所手当、さらに板金科の場合は、月二千元の受講奨励金が支給されます。なお、失業保険受給者でなくても三十五才以上であれば、一日約七百五十円の訓練手当と、前記同様の通所手当、受講奨励金が支給されます。

くわしいことは、入善高等技能学校へおたずね下さい。
電話七二一〇七六五



お知らせ

臨時急行四本停車

土曜・日曜・祭日運行

入善駅

今月の四日から十一月九日まで、の土曜、日曜、祭日には、入善駅で上り、下り、各二本の臨時急行が停車することになりました。

これは、行楽のシーズンを迎え、富山以東の利用者の便宜をはかるため、富山止りの急行立山一、二、四号を糸魚川まで延長運転するものです。従って、富山から向こうは定期列車です。ので、土曜、日曜、祭日に旅行される方や、商用で出張される方も是非この臨時急行をご利用下さい。

▼下り (糸魚川行)

六時三七分 立山四号

▼上り (大阪行)

八時一七分 立山一号

10月4日から11月9日まで
の土曜、日曜、10月10日、
11月3日のみ運行

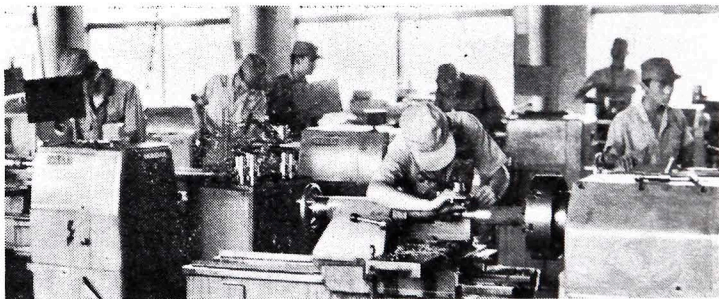
11月3日のみ運行

二時一二分 立山四号

10月4日から11月9日まで
の土曜、日曜、10月10日、
11月3日のみ運行

11月3日のみ運行

技能学校実習時間風景



不良犬を

一頭、百円で

買上げます

富山県では、十月一日より三十一日までの一ヶ月間を、野犬一掃月間として、野犬の一掃にのり出します。

野犬によって、幼い命が奪われたあの悲惨な出来事を思い起こし、野犬や不用犬、そして、愛犬とはいえ他人に悪さをする犬ならこの際人の迷惑ということを考え、処分されるようお願いいたします。

- 一、日時 十月二十五日 午前九時～正午
- 二、場所 役場前
- 三、買上げ代金 大、小にかかわらず一頭につき百円
- 印鑑をご持参下さい○

バイクに雑音防止器を

つけましょう

無料取付

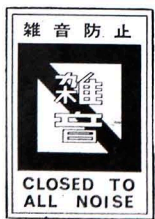
今回は、全国雑音一掃運動月間です。そこで富山県雑音防止協議会では、バイク等に雑音防止器を無料で取付けることになりました。

雑音防止器取付けご希望の方は、当日無料で取付けいたしますから、会場へおい下さい。

バイクの点火栓から出る雑音電波は、近くのテレビ、ラジオに妨害し、画面が流れたり、白黒の点々が画面にできたり、雑音が入ったりします。また、電気パカ、蛍光灯、ドリル、ドライヤーなども、雑音防止器が取付けてないと、このような障害を起こします。

▼日時 十月十四日 午前十時から午後四時まで

▼場所 入善町中央公民館前



行政相談週間

十月十二日から十八日までの一週間は、行政管理庁が全国一斉に行なう行政相談週間です。

私たちの町では、入善六区の上田秀雄さんが相談委員を委嘱

されて、毎月、八日、十八日、二十八日(八のつく日)には、民生課内にあります心配ごと相談室で、皆さんの相談に応じておられます。

役所のことなどでお困りの方は気軽に相談においで下さい。電話は七二一〇一三四です

春季募金にご協力

ありがとうございました

総額一、三五三、九〇五円

この春、皆さま方にお願ひし
まし日赤社資等の募金は、皆さ
ん方のご協力により
○日赤社資七七七、四七五円
○護国神社奉賛会費
一八二、〇一〇円
○更生保護事業資金
一二一、三四〇円
○社会福祉事業資金
二七三、〇八〇円
総額 一、三五三、九〇五円と

なりました。皆さん方からお寄
せ下さいました各募金は、その
目的達成のために、大きな力と
なることを確信しています。
募金にご協力ありがとうございました。
新加入者は一九一名で、梶山、
扇原久一さん、板屋、嶋田久二
さんの二人は、それぞれ五万円
の募金にご協力され、銀色有功
章社員となられました。



赤い羽根募金運動始まる

本年も十月一日から、「国民
助け合い運動」が始まりますの
で、皆さんのご協力をお願いし
ます。

一世帯当り募金額	二三〇円
共同募金	一三〇円
歳末助け合い金	三八円
身体障害者福祉資金	一二円
社会事業資金	五〇円

新着図書

- 生まれてからでは遅すぎる自然食の育児法 森下 敬一
- NHK育児手帖 松田 道雄
- キャンプ入門と案内 山と溪谷社
- ある町の高い煙突 新川 次郎
- われなのお生きてあり 福田須磨子
- 新聞語辞典 朝日新聞社
- 古代山岳信仰の史的考察 高瀬 重雄
- 禅についての対話 鈴木 大拙
- 歴史の発見 木村尚三郎
- 羊の歌 加藤 周一
- 遠く近い国トルコ大島 直政
- 秩父事件 井上 幸治
- 大君の使節 芳賀 徹
- 核時代を超える 湯川 秀樹
- 資格ママ 鯉坂 二夫
- 資格、検定ガイド 大矢 息生
- アメリカ第七艦隊 村上 薫
- 洞穴学とはじめ 吉井 良三
- 電子計算機 坂井 利之
- 万国博 春山 行夫
- 学徒出陣の記録 東大十八史会
- 日本の名歌 前川佐美雄
- 私の生き方考え方 松下幸之助
- 働き方の技術 小林 宏
- 戦後日本の警察 広中 俊雄
- 現代の哲学と政治 芝田 進午
- 経済計画と構造的諸改革 尾上 久雄
- 舞踊の文化史 古在 由秀
- 信条に生きる 邦 正美
- 木戸孝允 会田 雄次
- 三井、三菱の百年 大江志乃夫
- ヨーロッパ経済の旅 柴垣 和夫
- 日本気象風土記 小宮隆太郎
- 王朝絵画の誕生 関口 武
- リュウマチ 小田 禎一
- 神武東遷 安本 美典
- 明治維新と現代 遠山 茂樹
- 日本の政治風土 篠原 一
- 孤獨の対話 山根 銀二
- ヨーロッパの言語 泉井久之助
- 中国文学講話 倉石武四郎
- 卵はどのようにして親になるか 林 雄次郎
- 考古学とは何か 近藤 義郎
- ある平和主義者の思想 芝田 進午
- デタラメの世界 増山元三郎
- 文章教室 福田 清人
- 植物の進化を探る 前川 文夫



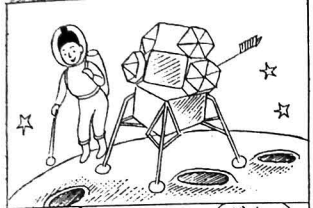
おめでとう(出生)

住所	保護者名	続柄	名前
入膳	若島政義	2女	さとみ
横山	亀田保	長男	保夫
新屋	寺崎忠雄	長女	美也子
芦崎	井田猛	長男	誠
東狐	野坂昭造	長男	和弘
舟見	徳光昇	長男	一郎
新屋	橋本洋志	長女	真由美
小杉	青木弘	2男	浩二
上野	村田徹	長男	徹幸
今江	小坂孝志	長男	由道
青木	石原孝志	長男	賢一

おくやみ(死亡)

住所	氏名	年令	世帯主
古黒部	赤川 昭子	37	本人
道市	川瀬 よせ	71	本人
東市	西村 治	25	米作
新屋	小林 良造	79	隆行

一家平泰



○……係では、子供さんから老人に至るまで、住民の皆さんに親しまれるような広報にしたいと努力しております。お気付きの点を係までお寄せ下さい。

○……原稿の締切りは毎月十五日です。明るい家庭の話題、珍らしい近所の出来事等、電話いただければ、直ぐにお伺いいたします。

電話七二一一〇番
総務課 松島 まで

